

2023年4月吉日

幼稚園保護者の皆さまへ

学校法人いづな学園事務局

2022年度 学校評価のまとめ ～ こどもの森幼稚園 ～

1. 本年度の学校評価への取り組み

いづな学園では、学校を運営する上での課題を明確にし、次年度の重点目標を設定するために、以下のとおり学校評価に取り組んでいます。

学校評価の流れ

- 2023年 2月 保護者アンケートの実施
 2023年 3月 保護者アンケートを受けての自己評価
 保護者に保護者アンケート結果を報告
 評価者に保護者アンケート・内部評価を公表、外部関係者評価実施
 評価方法:保護者・自己評価を受けての意見聞き取り及びアンケート調査
 2023年 5月 理事会及び評議員会で内部評価及び外部関係者評価結果を報告
 ホームページに外部関係者評価を掲示

2. 自己評価の結果について

保護者アンケートでは、いくつかの項目で評価が若干上昇しました。

特に、システム導入により保護者とのやり取りがスムーズになった点は、大変評価できる。

本園の一番の特色である自然環境を活かした活動と異年齢混合での活動をより充実させ、丁寧に指導することが今後とも重要な点と考えます。

3. 外部関係者評価の結果について

全体的に、活動の内容について高い評価を頂きました。

地域から指導や活動などについて高評価を頂き、もっと積極的に地域を利用してくださいと言って頂きました。

幼稚園自体が長野市郊外に位置する観光地の中にあり、特徴的な活動を展開することができる状況にあるため引き続き、子どもたちが地域を満喫し、子どもたちの心に残る活動としたい。

4. 来年度への課題

今年度の評価結果を受け、来年度における課題として以下の点が挙げられます。

- 1 自然体験活動のプロとして活動している方々の力を借りて活動を展開
- 2 畑づくりをはじめ、食に関する活動の充実
- 3 未来を担う子ども達に、人との関係性を作り上げる大切さを伝え、対話力を身に付けてもらう活動の実践

5. 来年度の重点事項

- ① 自然体験を中心においた教育の充実を図る
- ② 食育活動に力を入れる
→作物を育て、収穫し、調理する過程を通して、子どもに食への関心と興味の目を育てる
- ③ 園児、保護者及び教職員の対話の場を作り、人間関係の構築を目指す
→大人も子どもも、人種・思想・感情など様々な面で多様な観点を持っていることを踏まえ、園児、保護者及び教職員の対話の場を設けて人間関係の構築を目指す

2022年度 こどもの森幼稚園評価シート

2020年度こどもの森幼稚園の学校評価は以下のとおりとなりました。

A:評価できる B:やや評価できる C:やや評価できない D:評価できない

※ 評価段階 : A > B > C > D

項 目		評 価			
		保護者	自 己	関係者	
教育活動について	1	子ども達は、幼稚園を楽しみにしていると評価できる。	A	B+	A
	2	保護者は週のお便りやHP等で、園や子どもの様子がわかっていると評価できる。	B	B+	A
	3	保護者は参観・懇談会やさまざまな行事などで、子どもの様子や育ちがよく理解できていると評価できる。	A	B+	A
	4	先生は、子どものことについての相談事に適切に対応していると評価できる。	B+	B	B+
教育方針等について	5	保護者および教員は幼稚園の教育方針を知っていると評価できる。 「いのちを慈しみ いのちを育む」～自然の恵み・手づくりの愛情～	B+	B	B+
	6	幼稚園は、様々な自然体験を通して、自然と人の絆を育め合える保育を提供していると評価できる。	A	B	A
	7	今年度、幼稚園は自然体験を中心に活動し、SDGsを念頭においた教育を行い、個々人の考えを大切に して認め合う活動を行ったと評価できる	B	B	B
保育について	8	先生は、保護者とコミュニケーションを積極的に取りながら保育を行っている と評価できる。	B+	B+	B+
	9	子ども達は、元気に活動していると評価できる。	A	A	A
	10	幼稚園は、年齢別活動と年齢混合活動を取り入れて、子どもたちに思いやりの心 を育てようとしていると評価できる。	A	A	A
	11	子どもは、幼稚園の絵本などの読み聞かせを楽しみにしていると評価できる。	A	A	A
	12	先生は、子どもを理解し、子どもの性格や長所を把握して指導にあたっていると 評価できる。	B+	B+	B+
	13	先生たちは協力して教育活動にあたっていると評価できる。	B	B	B+
外部評価者の意見	飯綱高原の素晴らしい環境を活かした取り組みをされていると感じます。地域の様々な団体と連携した活動も面白いのではないかと思います。自然体験のプロもご紹介したいと思います。(飯綱高原観光協会 会長 中島伸也氏)				
	地域の子育てサロンの会場として、子育て支援館野愛を開放していただきありがとうございます。他にも、外部に向けて様々な講演会等を催して素晴らしいと思います。 芋井地区は、範囲も広いので、まだいづな学園のことを知らない方もいらっしゃいますが、より多くの地元の方にも身近にこんな素敵なおところがあることを知ってもらいたいと思っています。(芋井地区主任児童委員 及川由美氏)				
来年度の課題	1 自然体験活動のプロとして活動している方々の力を借りて活動を展開 2 畑づくりをはじめ、食に関する活動の充実 3 未来を担う子ども達に、人との関係性を作り上げる大切さを伝え、対話力を身に付けてもらう活動の実践				
来年度の教育活動における重点項目	①自然体験を中心においた教育の充実を図る ②食育活動に力を入れる →作物を育て、収穫し、調理する過程を通して、子どもに食への関心と興味の日を育てる ③園児、保護者及び教職員の対話の場を作り、人間関係の構築を目指す →大人も子どもも、人種・思想・感情など様々な面で多様な観点を持っていることを踏まえ、園児、保護者及び教職員の対話の場を設けて人間関係の構築を目指す				